湖月抄

ゝ

北七

内閣文庫

横笛 細 巻名以音号之 ものゝこゑのちゝへゞとよりつゝぬとゆるゝくやうなるねそつきせぬね

源 此音網為巻名 うゝ同前 網本ハ笛とつくりあり 巻 横笛

ハ巻の笛なり 横ゝくゝ笛と笛とゝふ 簫笙篳篥 細 源

四十九巻二月廿ぐのゝあり 柏木の巻ハ四十八巻の終也

乃ち巻也 此巻ハ薫二巻 白文三巻 外とあり 暁

故権大納言 細 柏木逝去事 源人のきゝよみゝくり 巻大

中納言よ況りて権大 公卿 餘の人ハ権公卿

別ゝゝ 細 源ハ大

ゝゝの人ゝゝゝ

末の追善と別に世にあまねく李部王記に天慶十年三月十九日の御八講の結願に修
訊誦沙金百兩紺瑠璃壺に施入のよしあり畧記之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のまはわくん年をしてゆつるし　河内捨遺　美の御子よりかくみれとをりをり世よそろせき
山よりわれるとをろ　義　女三宮女をしておつ中子付えりやくの山里びをろのハえーをえね
人のをめよハ
く今ハ世を有をろをろをろをろ

ハおろをれる　細　内文の端士の句
やをるをろを　美の野山霞をしぬどく
しをれどを　孟野老筍ををのをく　ゆり出ををて
作をろをろ　朱雀
世をろをれ　細　女三の
をををを

源世にハ　細　世中にあぬ
ものとそ　ものとそ
義　朱雀のおこるひろ山
源へとろ　とろ盃に
世よあきて　世の中にあぬ
きと　きと
うらめしげなる　仰　わく
うらめしき　世を
よ入ぬ　よ入ぬ
ひわぬ　ひわぬ
細　六条院をとろれ給ハ
ん　ん

あ紙しびのあや一ゑ　元入乃文の法ゑ
古筆しるし　古筆しるし　源の法ゑ
ものとと　ものとと
うるげ　うるげ
世三　世三
山源　山源
ものとと　ものとと
めるいと　めるいと
盃　女三の源の法ゑ
今ハ　今ハ
つくしら　つくしら
らつきの　らつきの
えまて　えまて

源の紙
盃　光源けんじ　光源けんじ
のうく　源の女三の法ゑ
とそて　とそて
つとえぬ　つとえぬ
晩　女三宮の尾よ
うと　うと
ひ　ひ
まこと　まこと
細　文の法ゑ
ゆ　ゆ
ぬ　ぬ
ま　ま
つとえぬ　つとえぬ
ぬ　ぬ
ひ　ひ
ま　ま
ぬ　ぬ
ま　ま
ぬ　ぬ
ま　ま
ぬ　ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

すゝき　は　多集万葉潛上

孟すゝきいあつまりてなびく

男たる道のみちすゝき

ひの毛ちげさ　細武蔵の国一ひらずくさ
柏木の毛みも一条文をを
とみくしひまふ所文一村
落もこのりぞよひ
ことして出の給そくん
秋ちひ後くくとあり。
引合てくるべきさり
くくくあくりり　細夕雲のくく食多の実法
くくを文をとくり孟仏やく
くくを不くそぬ文人の仏
出毛くり柏くく

くすくくすまひく。蒲冠の花どもむ一の
ねちげさ野べとぞれくゆげくを
くくくくふ所文一条文をを
とみくしひまふ所文一村
落もこのりぞよひ
ことして出の給そくん
秋ちひ後くくとあり。
引合てくるべきさり
くくくあくりり　細夕雲のくく食多の実法
くくを不くそぬ文人の仏
出毛くり柏くく

ねちげさ野べとぞれくゆげくを
くくくくふ所文一条文をを
とみくしひまふ所文一村
落もこのりぞよひ
ことして出の給そくん
秋ちひ後くくとあり。
引合てくるべきさり
くくくあくりり　細夕雲のくく食多の実法
くくを不くそぬ文人の仏
出毛くり柏くく

くすくくすまひく。蒲冠の花どもむ一の

ひの毛ちげさ　細武蔵の国一ひらずくさ
柏木の毛みも一条文をを
とみくしひまふ所文一村
落もこのりぞよひ
ことして出の給そくん
秋ちひ後くくとあり。
引合てくるべきさり
くくくあくりり　細夕雲のくく食多の実法
くくを不くそぬ文人の仏
出毛くり柏くく

くすくくすまひく。蒲冠の花どもむ一の
ねちげさ野べとぞれくゆげくを
くくくくふ所文一条文をを
とみくしひまふ所文一村
落もこのりぞよひ
ことして出の給そくん
秋ちひ後くくとあり。
引合てくるべきさり
くくくあくりり　細夕雲のくく食多の実法
くくを不くそぬ文人の仏
出毛くり柏くく

くすくくすまひく。蒲冠の花どもむ一の
ねちげさ野べとぞれくゆげくを
くくくくふ所文一条文をを
とみくしひまふ所文一村
落もこのりぞよひ
ことして出の給そくん
秋ちひ後くくとあり。
引合てくるべきさり
くくくあくりり　細夕雲のくく食多の実法
くくを不くそぬ文人の仏
出毛くり柏くく

りのうちうつくしき市女笠のゆいをとりてのすかし
ふるうさまあり 細 ゆいとりとりてとよハ女二のふとりて
ふかう糸しのうぐうぐにりうせうりせべつくをもるくるげうぐ
とくちるみうあくくいとやりまれど
市女笠の句
れるをさくばるよつさけうくりや
くくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つべくるんとく 咲と歌
の面白さにハタ多方ぬく
らくくの独乃ねと
人ゆくとべくと文繰り
よみきくうてくうもの
こもり待の引ものねべ
みのとよせん待もなさ
とくべ時ハ急よあくそ
兵令のづら待もあそえ
うぬとく 盃物日歌
もよろん 細作島不の句
およ多方の句よ公佐こと
もこうて待んうと
ゐん句をうけこうお笛
のまよ公笛の中来湯必浅
こう作うこうゆあうそ
れを安房のるくくの
ゐうんも仏あるあやうえ
べうまこめそのるうゐ笛
よ文選風藻ノ吹笛作懐
旧賦ニこしあうふよ及づぐ紀
作れるうきをうん 細 ここき
の声よあくそひて笛の声
のぜんをうう後引くらく

よえ 細別よとゆあうよそてこく
つゆ物よ笛をそへてなれ待見よるんま
くくよあうこくもつこうべくゆを
きけりくをうくうとをふようげりて
をあくれよくうをばされよくをん
こゆるんくそなげくもいぶうくけうと
きくくまんだみりくくうくぬ浦ゆよこ
そけべくれくてくうよくれもげよくて
りよ 細 柳のく
くくよ多みそんてりてあそびつくべ
くくをうよくうくうよくうれげねのうぐりいえゆき
の浦りええ吹出くべく
くとくくくすふくんひくよいくでつくくて
ぐゆくくあくくくくくぐらゆひくくよひ
出ける今をくうあくれゆりくそひく

しくくくくり
ゆうくくくぬ 細 夕多の句くくこの声よの浦よつくて満多とくうゆ多よくうべ
くくもゆるくく 仲 夕多の公笛のくうと海多とくの浦くを
ひくくを 紅 和琴を
引くくゆハゆくくれ作べく
公笛のもいえ作くくを
ゆうゆ柳木のくうハくゆ
とくゆくくく 咲 柳木を
ゆうくくくくれ作べく
引くくゆハゆくくれ作べく
公笛とつくくんくうハくべく
ゆくくく 細 ゆ白ゆ木の句
笛を出けうくて作うゆく
ハくくゆも家をとのせくう
仲夕多の笛のねよ柳木
のくくくとくくゆくく
くくくの 花ひうくゆく
ねハくの文よくうゆなく
ねをくくくり 咲 柏木の
うくをひうくうくくくし
仲笛の須ハくくくねど
柳木ハゆくくせくハくうね
ハ盃ゆくうくくく

盃公笛をゆ車のくうゆくくくくくんくゆの浦れくゆくゆくくくくべくくをくくゆ
くくくくくり
ゆうくくくぬ 細 夕多の句くくこの声よの浦よつくて満多とくうゆ多よくうべ
くくもゆるくく 仲 夕多の公笛のくうと海多とくの浦くを
ひくくを 紅 和琴を
引くくゆハゆくくれ作べく
公笛のもいえ作くくを
ゆうゆ柳木のくうハくゆ
とくゆくくく 咲 柳木を
ゆうくくくくれ作べく
引くくゆハゆくくれ作べく
公笛とつくくんくうハくべく
ゆくくく 細 ゆ白ゆ木の句
笛を出けうくて作うゆく
ハくくゆも家をとのせくう
仲夕多の笛のねよ柳木
のくくくとくくゆくく
くくくの 花ひうくゆく
ねハくの文よくうゆなく
ねをくくくり 咲 柏木の
うくをひうくうくくくし
仲笛の須ハくくくねど
柳木ハゆくくせくハくうね
ハ盃ゆくうくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のいまわのこころめよ
の閉眼のけぶり 細 往生
の一念ばかり変ハられること
とり臨終一念生死是
定云云

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細 孫のかたくなれいよ〳〵多生のいとうとうとく
孟 多生のかたくなれいとうとぬがとそ
孟 ゆるしたまへ
細 孫の孫
孟 ゆるしたまへ
孟 孫のまゝ
孟 孫のかたくなれ
孟 孫のまゝ
孟 孫のかたくなれ
孟 孫のまゝ
孟 孫のまゝ
孟 孫のまゝ